



広島国道事務所からのお知らせ

令和4年10月20日
同時資料提供先：合同庁舎記者クラブ
広島県政記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

ひがしひろしまくれ
【E75】東広島呉自動車道 **阿賀IC立体化完成**
あが
半年後の整備効果

～新たな整備効果の確認状況をお知らせします～

令和4年3月19日（土）に、阿賀IC立体化（延長0.9km）が完成しました。完成後半年が経過しましたので、救急搬送や路線バスの運行支援等の整備効果についてお知らせします。

<概要>

■救急支援

高次医療施設への**スムーズな救急搬送**に寄与

■路線バスの運行支援

混雑時の**定時性・利便性の向上**に寄与

■道路利用者の声

地域の方へ開通による**効果の実感**を確認



(問い合わせ先)

国土交通省 中国地方整備局 広島国道事務所

副所長 河井 知久 (かわい ともひさ)

【担当】計画課長 二宮 智大 (にのみや ともひろ)

TEL (082) 281-4133

FAX (082) 286-7897

○広島国道事務所ホームページ <https://www.cgr.mlit.go.jp/hirokoku/>



広島国道事務所HP



広島国道事務所
Twitter

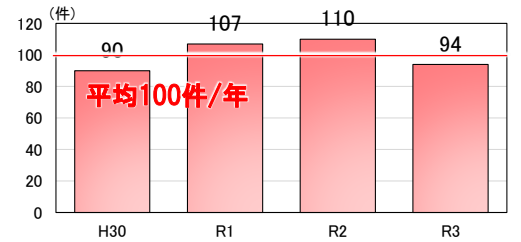
整備効果

高次医療施設への安定した救急搬送

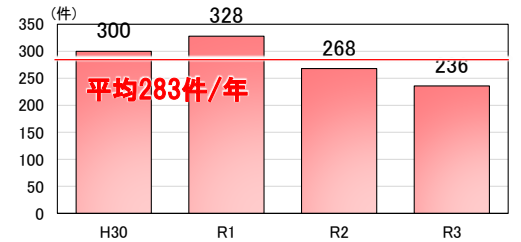
- 東広島市には、高度な救命救急医療に対応できる第三次救急医療施設が立地しておらず、隣接市の第三次救急医療施設である「呉医療センター」(平均100件/年)や、東広島市から近い「中国労災病院」(平均283件/年)にも搬送を行っています。
- 阿賀IC立体化前の先小倉交差点混雑時は救急車両の走行が出来ない状況でしたが、立体化によって混雑が避けられるようになり、スムーズな救急搬送による救命率の向上や搬送患者の負担軽減に寄与しています。



東広島市内から呉医療センターへの搬送件数

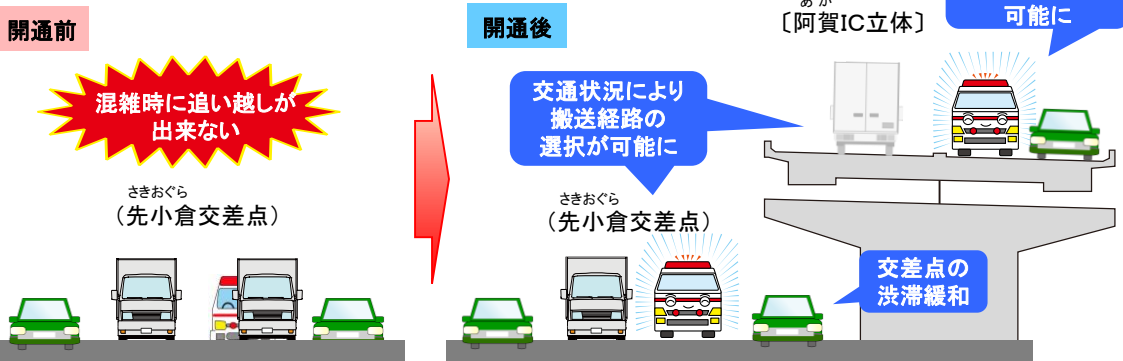


東広島市内から中国労災病院への搬送件数



※第三次救急医療施設・・・初期・第二次救急医療機関では対応できない重篤な救急患者に対し高度な医療を総合的に提供する医療機関
 ※第二次救急医療施設・・・入院治療を必要とする重症救急患者に対する医療を提供する医療機関

救急車両の走行性改善



消防局の声

・阿賀ICの立体化により、通勤・帰宅ラッシュ時の渋滞が著しかった先小倉交差点は、以前より緩和していると思われます。

・東広島方面から「呉医療センター」への搬送経路は、交通状況によって、阿賀IC立体化部または先小倉交差点経由のどちらかを選択していますが、どちらの経路とも以前より走りやすく、スムーズな救急搬送に寄与していると考えています。

・「中国労災病院」への搬送時も、東広島呉自動車道方面から先小倉交差点を直進して向かいますが、以前より渋滞は緩和されているように感じ、通行しやすくなりました。



(R4.9 東広島市消防局ヒアリング結果)

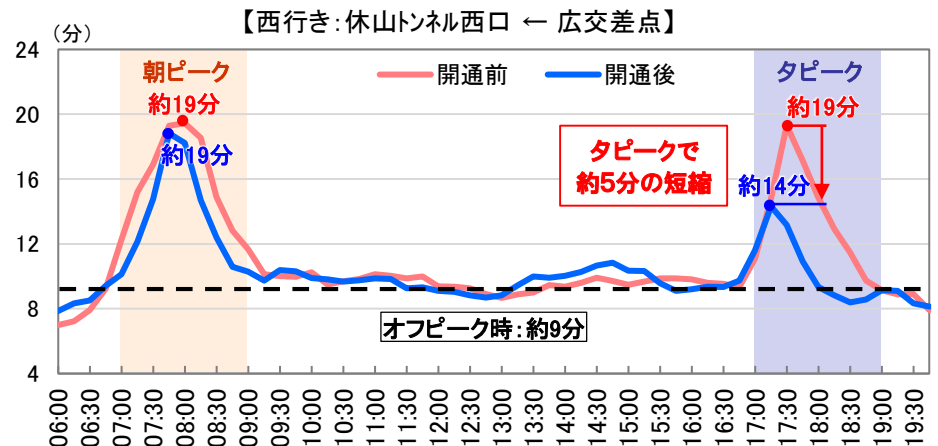
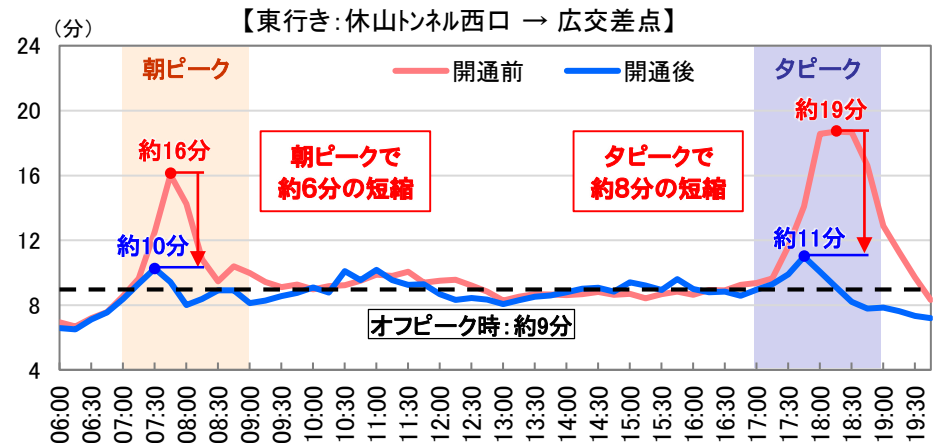
整備効果

路線バスの運行支援

- 阿賀IC沿線の国道185号では、往復計で約150便／日の路線バスが運行していますが、阿賀IC立体化前は先小倉交差点の混雑等により、通勤ラッシュ時に大幅な運行の遅れが発生していました。
- 阿賀IC立体化により、国道185号の東行(呉方面から広方面)については、朝夕ピーク時の混雑が緩和しており、路線バスの定時性向上・バス利用者の利便性向上に寄与しています。



国道185号の所要時間の変化



バス会社の声

- ・阿賀IC立体化前は、呉方面の先小倉交差点において、通勤ラッシュの時間帯でバスの運行が最大15～20分程の遅れが発生していました。
- ・阿賀IC立体化以降、よほどのことがない限り、目立った渋滞も無く運行が出来ているのが現状で、路線バスの定時性向上により、利用者の利便性向上が図られています。



(R4.9バス事業者ヒアリング)

整備効果

道路利用者が様々な効果を感じています

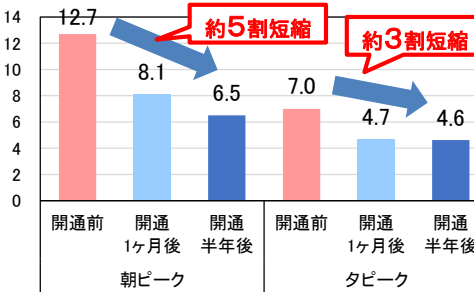
- 東広島呉自動車道から休山トンネルへ向かう右折交通の所要時間は開通後、朝ピーク時で約5割の短縮が図られています。
- 阿賀IC高架部の利用者からは、「通勤時間が短くなった」「歩行者・自転車との接触の危険性が減った」といった開通による実感の他、「地域経済の発展」「企業立地の促進」といった長期的な期待の声も寄せられています。

位置図

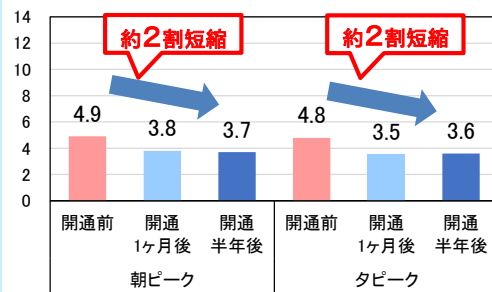


所要時間短縮効果

休山トンネル東口 ← 東広島呉自動車道 (横路トンネル)



休山トンネル東口 → 東広島呉自動車道 (横路トンネル)



※朝ピーク：7時台、夕ピーク：17時台 出典：ETC2.0プローブデータ 開通前：令和4年3月14日～3月18日
開通1ヶ月後：令和4年4月4日～4月8日、開通半年後：令和4年8月1日～8月30日

～地域住民の声(通勤時の混雑緩和について)～

- ・7時20分頃に先小倉交差点を通過していましたが、3～5サイクル程度の信号待ちが発生し、不測の時間を要していました。
- ・阿賀ICの立体化により、1～2サイクルの信号待ちと安定しており、**感覚的には3～5分程度の時間が短縮された**と感じています。



- ・阿賀IC立体化前は7時5分～10分頃に先小倉交差点での渋滞に巻き込まれており、交差点を通過するのに15分から20分、車が多い時には30分は掛かっていました。
- ・阿賀ICの立体化により、**家を出発する時間を15分程度遅らせてもほぼ同じ時間に到着**するようになりました。



(R4.10 ヒアリング結果)

～地域住民の声(安全性の向上について)～

- ・横路方面から呉方面に行く際、東広島呉自動車道から先小倉交差点に降りてきた車両の右折がほとんどなくなったので、**以前のような本線と側道の交錯が少なくなり、スムーズに通行できるようになりました。**
- ・呉方面から先小倉交差点を左折する際、横断歩道での歩行者や自転車との接触の危険性がありましたが、立体化により、**横断歩道を通行する必要がなくなったため、非常に安全になった**と感じています。



～地域住民の声(地域に貢献する効果について)～

- ・阿賀IC立体化により時間が短縮するだけでなく、**時間が読める移動が可能になりました。ロス時間が減り、有効に使える時間が増えたことは、地域経済の発展に大きく寄与**すると思います。
- ・呉方面～東広島方面の所要時間が短縮されることで、**住民の利便性が向上しただけでなく、企業立地の促進にも貢献**するのではないかと思います。



(R4.10 ヒアリング結果)